

今回の特集を読んで勝率アップを目指そう!

対談を行うのはこの2人



並ばせ屋
山本

数々の繁盛店を作り上げ、並ばせ屋の異名を持つ有名店長だったが、その手腕を全国で振るうべく2016年9月に独立。スロプロ→ホール店長→コンサルと、バチスロ業界に深く関わってきた、バチスロ界の行列マスター。彼のプロデュースには、打ち手もホールも納得なのだ!

スロプロ時代を経て漫画化デビューし、現在もバチスロアにて「○○苦愛(クラブ)」を連載中。ライターと一緒に映像に出演することもしばしば…、バイタリティの高さも十分。さらに全国のホールに来店し似顔絵の無料サービスを行うなど、活躍の場を広げている



各々の活動内容などは
ツイッターをチェックしよう!

**並ばせ屋 山本
ツイッター**



特定の時間が来るとボーナスが当たる、リセマートモーニングが入っている台だけ朝から下パネルが暖かい：など、「自分だけの発見」で劇的に勝った時代。「目押しによる技術介入」を行えば、設定一でも機械割がゆうに100%を超える機種があつた時代。天井狙い・ゾーン狙いなど、ある程度の「機種知識」さえあれば、設定不間で勝てた時代。一円入りれば設定6か否かがほぼ見抜けてしまつ、「分かりやすい機種」があつた時代。

——パチスロで勝つための切り口は時代とともに移り変わってきた。時は2017年・夏、パチスロで勝つた

されば良いのだが、各地域の細かい調査にまでは手が回らない。そこで高設定狙いの根幹となる「ホール選び」に焦点をあてた、スペシャル対談をお届けすることとした。当企画を熟読しただければ、全国どこでも、高設定が入るホールの「探し方・見分け方」が見えてくるハズだ。

対談のメンツは「ホール側の考え方を理解している者・並ばせ屋山本」と「打ち手側や企画主催者側の考え方を理解している者・天草ヤスヲ」（左カコミ参考）。2人のトークは読者諸氏の立ち回りのヒントとなる内容も多いので、ぜひ参考にしていただきたい！

今、**勝つ**ために
考える」とは?

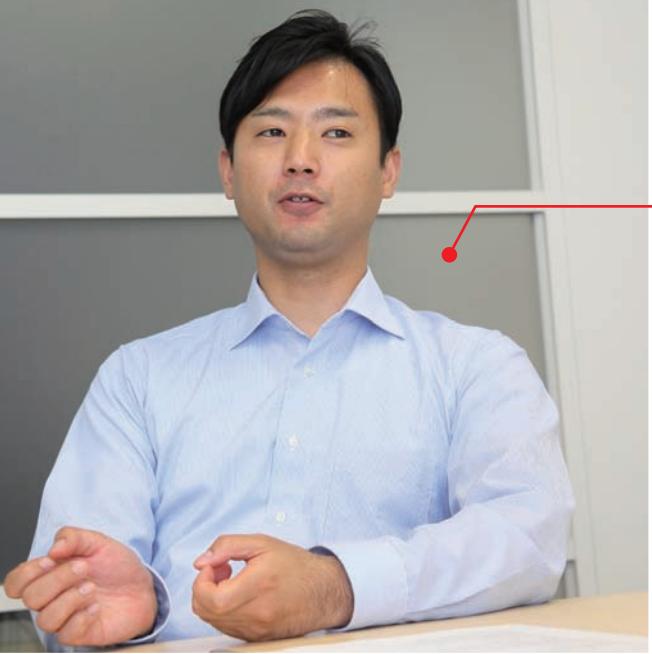
NARABASEYA YAMAMOTO



AMAKUSA YASUWO

並ばせ屋×漫画家 パチスロ口談義開始！

1台だと分からなくとも 全6なら伝わると思う （並ばせ屋 山本）



●

—— 本日はよろしくお願いします。まず全国各地で行列を作っている山本さんと、全国のホールを回って直接ヨーザーさんの声を聞いている天草先生の対談ですから、それはそれは読者の方々の参考になるようなお話しになる期待してます！

山本 「ちょっとフレッシュ——感じちゃんとしますね…」

天草 「まあまあ。山本さんが普段やつてることとか、考えていることを話せば大丈夫だと思いますよ」

—— お2人は元々お知り合いで？

天草 「何度か一緒にさせてもらつてます。仕事でも飲みでも（笑）」

山本 「そうですね。前から繋がりはありました。ただ、雑誌の仕事で絡むのは初めてですね」

—— ということは、自己紹介などは必要ないですね。では、さっそくです

—— 良いホールで良い設定を打てば、良い結果に繋がる。でも今の機種って、高設定かどうかなんて簡単には分からなくなっていますか？

天草 「そうですねえ。僕ら打ち手からすれば、昔は設定発表とかがあったんですけど、今は自分たちで感じ取るしかないような状況じゃないですか？ でも高設定がちゃんと高設定らしい挙動をして、出玉も出で…という風になるかと言えばそうでもないし、ホント難しい時代になりましたよね」

山本 「ホール側からしても、あちこちに設定6を入れてのに全然見つけてもらえない：なんてこともあります。なので私は「1台だと分かつてもられないかもしぬないけど、全台なら…」と考え、全6という形でヨーザーさんにメッセージを送るようにして始めたんです」

天草 「全台456とかって選択肢はなかったんですね？」

山本 「昔はやりましたけど、最近の機種の性能やヨーザーさんの見切りタイミングなど色々考えると、今は6にこだわってますね」

—— 甲斐があります（笑）」

が本題にいたいと思います。まずは、お2人が考える「現在のパチスロの勝ち方」とは？

山本 「ホール選びでしょうね」

天草 「高設定狙いだと思います。言つてしまえばそれはホール選びしたことになりますね。むしろこの一択と言つても過言ではないんじゃないですか？」

山本 「昔に比べて新台の魅力が薄れてきているという背景もあって、設定で勝負してくるホールも増えてきましたよね」

天草 「特に都内は等価から非等価に…という大きなきっかけがありましてから。そこから高設定確定演出をSNSなどで見るケースが多くなりましたわん」

—— 良いホールで良い設定を打てば、良い結果に繋がる。でも今の機種って、高設定かどうかなんて簡単には分からなくなっていますか？

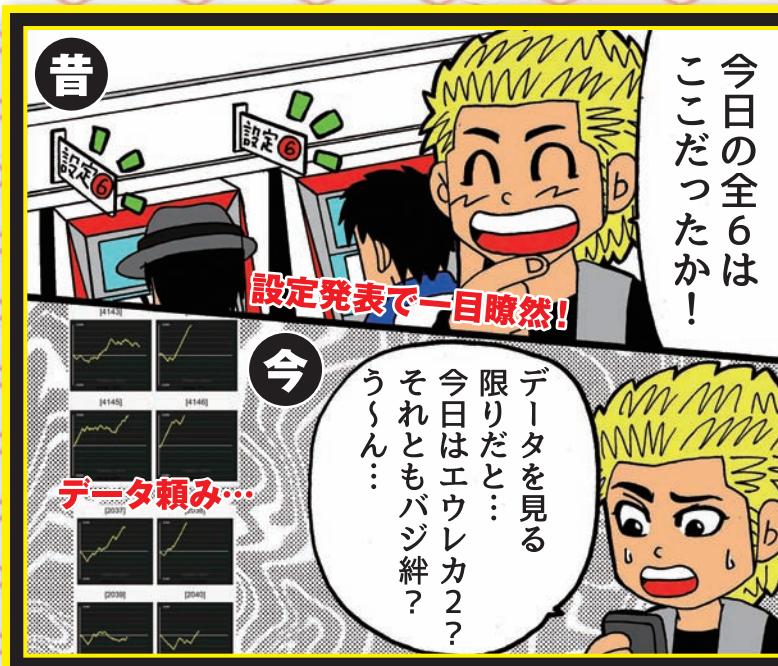
天草 「そうですねえ。僕ら打ち手からすれば、昔は設定発表とかがあったんですけど、今は自分たちで感じ取るしかないような状況じゃないですか？ でも高設定がちゃんと高設定らしい挙動をして、出玉も出で…という風になるかと言えばそうでもないし、ホント難しい時代になりましたよね」

山本 「ホール側からしても、あちこちに設定6を入れてのに全然見つけてもらえない：なんてこともあります。なので私は「1台だと分かつてもられないかもしぬないけど、全台なら…」と考え、全6という形でヨーザーさんにメッセージを送るようにして始めたんです」

天草 「全台456とかって選択肢はなかったんですね？」

山本 「昔はやりましたけど、最近の機種の性能やヨーザーさんの見切りタイミングなど色々考えると、今は6にこだわってますね」

—— 甲斐があります（笑）」



昔は分かりやすかった！



毎日〇時に高設定を発表!
…なんてこともやっていた

にわかには信じられないかもしれないが、10数年前は札などによる設定発表が日常的に行われていたのだ。打ち手も正解が分かってハッピー。なかには嘘をつくホールもありましたけど…ね



さらに確認できた店も！

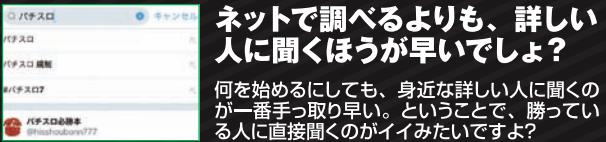
こちらも信じ難い事実だが、台を開けて設定を確認してくれるホールも。昔は「設定発表と確認」は打ち手の大きな味方だったのだ



今はあらゆるツールを使って情報を集めないといけない

当然ながら現在は設定発表も確認もNG。ユーザーはデータやSNSなどを通じて情報収集をしなければならない。…難しい時代になりましたねえ

色んな人に聞いてみよう



高設定は実際何台使えるの？

——山本さんと言えば「全6」のイメージです。ただ、それだけ入ってしまうと、全6機種以外は一ぱかり…なんということなりません？

山本 「そんなことはないですよ。うまくやらをすることで、お客様に納得して遊んでいただくのが山本流ですから」

天草 「確かに山本さんはそのあたりの設定の使い方がメチャクチャうまい

——山本さんと言えば「全6」のイメージです。ただ、それだけ入ってしまうと、全6機種以外は一ぱかり…なんということなりません？

山本 「やはり等価となるのは少なめ、4あたりをダメーで散らして騙し騙し…ですか？」

天草 「非等価よりも等価のほうがメリハリ配分になりやすいです。非等価に比べて等価は圧倒的に投入可能な高設定の数が少ない。だから上手く中間設定を使おうと考えますけど、中間つてやっぱりじゃないので、途中で交換されたり埋もれてしまつたりして、全く出玉が見えなくなる

——山本さんと言えば「全6」のイメージです。ただ、それだけ入ってしまうと、全6機種以外は一ぱかり…なんということなりません？

山本 「ホールの赤字ギリギリラインの強い営業日であれば、仮に200台の店舗で200人以上並ぶような状況なら、20台は6を使えます」

天草 「10分の1で6ですか。なかなかに勝負できる状況ですね」

山本 「等価交換の店舗でその台数ですか。非等価の店舗であれば、6を倍投入できます。非等価であれば、設定4や5も相当数入れられます。こっちとしても非等価のほうがやりがいもあるし楽しいです」

天草 「…もう結論言っちゃいましょう。山本さんがプロデュースするお店で打てば勝率アップ！ 今回はこの結果で良くないですか？」

——OKです！ では本日は解散！

天草 「…って、そんな結論でOKが出ると思ってませんよね？ 話を戻しますよ。優良ホールの探し方です。

山本 「そうですねえ。全国どこでも誰でもできるやり方となれば…一番早いのは周りの誰かに聞くことじゃないですか？」

天草 「確かに。周りにパチスロで勝っている人がいたらその人に聞けばいいし、今ではツイッターなどのSNSで色々なホールを紹介している人もいますもんね。実は勝てる人って意外と他人に喋りたがる人も多くないですか？」

山本 「ネットを見ていてもそう思います。あとは、行列ができるホールに行つて状況を見てみるとか、その店で仲良くなつた人に話を聞くのも効果的だと思います。また小役力、ウソタを使っている人が多いからを見れるなど、「勝とうとしている人が多いホールを探すこと」から始めればいいと思います」

勝ってる人って意外とおしゃべりだつたり…？ 【天草ヤスヲ】



優良ホールについて話していたんですね…

——続いては、「お互に思つ優良ホール、好きなホール」についてお伺いしたいと思います。

天草「僕は単純に『6があるホール』ですね。お宝がないところで宝探しをして仕方がないので」

山本「続いで私は、何かしらの意図をもって営業しているホールに魅力を感じますね。その意図がユーザーさんに伝わつていれば、ホールも打ち手も駆け引きを楽しめるので」

山本「ウチはジャグを頑張るホールですよとか、ノーマルはイマイチだけどその分A-T機でとんでもないことをやるよとか、なんでもインです。私の場合は全6を用意しつつ、最後尾のお客様にもチャンスがある配分を目指しています」

天草「山本さんプロデュースのホールに行くと、ウソ!? そこに入れてく

山本「ウチはジャグを頑張るホールですよとか、ノーマルはイマイチだけどその分A-T機でとんでもないことをやるよとか、なんでもインです。私の場合は全6を用意しつつ、最後尾のお客様にもチャンスがある配分を目指しています」

——最後尾の人方が何に座るのか分からぬですか?

山本「3枚くらいですね(笑)。最後尾当て…これが当たるかを個人的な楽しみにしています」

天草「でもそれは打ち手にどうても嬉しいことですよね。特定の機種にしかチャンスがないと、もう抽選で〇番以内じゃないと終わり…みたいにことになりますね(笑)」

山本「私は客層を4~5段階くらいに分けた者でまして、どの階層の人でも過半数のお客様に満足して帰っています。だから最後尾の人にもチャンスを…」という部分にもこだわっていますね

天草「うそ!? そこに入れてく

山本「うそ!? そこに入れてく



設定看破やクセ読みも パチスロの楽しみ [天草ヤスヲ]

**最後は並ばせ屋の
未来予想図…?**

——天草先生はホールに対する要望
というか、こうして欲しい…という希
望はありますか?

天草「そうですねえ…ホールには設定
6にこだわって欲しいですね。もち
ろん設定4や5も高設定だとは思
いますけど、もっと上の設定があるつ
てどうしても思ってしまうので。月
並みな言い方になっちゃいますけ
ど、やっぱり設定6には夢がある
じゃないですか」

山本「その通りです。でもそれが分
かっていないホールも多い…とい
うのが現実です」

天草「仮に全台が設定3のホールが
あつたとします。機械割で言うと1
00%前後なんで数字だけ見ると凄
い…」

天草「「仮に一台が設定3のホールが
あつたとします。機械割で言うと1
00%前後なんで数字だけ見ると凄
い…」」

山本「前から思ってましたけど、山本
さん…言つ時はけつこうボロカスに
言いますよね(笑)」

天草「そりやあ語氣も強くなりますよ。
結局ホールがヘタクソであればある
ほどお客様が損することになるんです
から。私は毎日設定6を使います。た
とえ店内に一台でもイヤから毎日必ず
6を使う。これは足を運んでくださる
お客様への最低限の礼儀だと思つてい
ますので。それと別に全6を使う日
も用意しています。それでもホール経
営つて成り立つものなんですよ」

天草「そう聞くと毎日毎日低設定ば
り、サブライズもナシ…なんてホー
ルを見ていると、何やってんだろう
なあ…って思いますね(汗)」

山本「ただ高設定を大量に入れるだけ
なり誰でもできます。でもそれが毎
日の集客には繋がるかと言えば、そ
うではない。かといってホールも赤
字を垂れ流し続けるわけにもいかな
い。じゃあどうやってお客様に足繁
く通つていただきか。この話は繰り
返しになりますけど、大事なのはス
トーリーなんです。今日はあそこに入
ったから明日は入らないだろうと
か、前々回・前回の特定日にアレと
ソレが全6だったから今回はここか
もなとか、ユーザーさんに「配分を
読む楽しさ、ホールとの駆け引きの
楽しさ」まで提供できるストーリー
を描いてあげれば、毎日通いたくな
るようなホールになるんです」

天草「なるほど、凄く分かります。僕
も設定看破とかホールのクセ読みも
含めてパチスロの楽しさだと思って

く甘いですよね? でもそのホール
で打ちたいかつて聞かれると、そう
じゃないんだよな…って思いませ
ん? むしろ同じ機械割100%の
配分なら設定1も6も混在して
ホールのほうが、どう考えても面白
いじゃないですか?」

山本「でもまだ設定6を入れりや
いってもんぢやないんですよ。そ
の現在のさせ方がヘタクソなホール
がまあ多いこと」

天草「前から思つてましたけど、山本
さん…言つ時はけつこうボロカスに
言いますよね(笑)」

山本「そりやあ語氣も強くなりますよ。
結局ホールがヘタクソであればある
ほどお客様が損することになるんです
から。私は毎日設定6を使います。た
とえ店内に一台でもイヤから毎日必ず
6を使う。これは足を運んでくださる
お客様への最低限の礼儀だと思つてい
ますので。それと別に全6を使う日
も用意しています。それでもホール経
営つて成り立つものなんですよ」

天草「そう聞くと毎日毎日低設定ば
り、サブライズもナシ…なんてホー
ルを見ていると、何やってんだろう
なあ…って思いますね(汗)」

山本「ただ高設定を大量に入れるだけ
なり誰でもできます。でもそれが毎
日の集客には繋がるかと言えば、そ
うではない。かといってホールも赤
字を垂れ流し続けるわけにもいかな
い。じゃあどうやってお客様に足繁
く通つていただきか。この話は繰り
返しになりますけど、大事なのはス
トーリーなんです。今日はあそこに入
ったから明日は入らないだろうと
か、前々回・前回の特定日にアレと
ソレが全6だったから今回はここか
もなとか、ユーザーさんに「配分を
読む楽しさ、ホールとの駆け引きの
楽しさ」まで提供できるストーリー
を描いてあげれば、毎日通いたくな
るようなホールになるんです」

いるのです」

山本「私が関わっている店舗様にはこ
ういう考え方を伝えています。この
活動を続けていく…そうですね、
全国の名市町村に1つくらいの割合
で並ばせ屋流の営業をしている店舗
があるようになればいいなど。それ
が現在の私の夢ですね」

天草「それは個人的には非常に楽し
みが未来予想図ですね。ぜひそうな
くて欲しいですね!」

山本「私が関わっている店舗様にはこ
ういう考え方を伝えています。この
活動を続けていく…そうですね、
全国の名市町村に1つくらいの割合
で並ばせ屋流の営業をしている店舗
があるようになればいいなど。それ
が現在の私の夢ですね」

天草「それは個人的には非常に楽し
みが未来予想図ですね。ぜひそうな
くて欲しいですね!」

一編集後記

2人とも良く知ってるなあー
そりやそうか…なんて思いつつ…



いかなる勝負事にも「勝ち方」「負け方」というものがあると思うんです。たとえ同じ金額を負けても「今日はいっぱい当たったけどチャンスを活かせなかつたな…」という日と、「な~んにもできないで天井で100枚。それもペロリかよ!」という日では、絶対的に前者のほうが満足度が高いワケで。本文中には入れられませんでしたが、天草先生が「同じお金を使う遊びだとして、旅行に行く時なんかは皆さんネットで良い宿を探したり、グルメスポットを調べたりしますよね? パチスロも同じだと思うんです。めいっぱい楽しむ準備をしないと勿体ないですよ」と、おっしゃってました。確かにそうだよなあ~って。

大半の人はパチスロで負けています。でもそれを良しとしているんです。負けてもパチスロを打ち続けているのがその証拠。かくいう自分も同じ穴のムジナです。でもね、スロプロの人たちみたいに毎日の多くの時間をパチスロに割けないのも事実なワケで…。じゃあ負け続けるの?って聞かれりゃあ、「うるせ~、その通りだよ!」と答えつつも「ちくしょー、今に見てろよ」と思う部分もあつたりします。

グダグダと語りましたが何を言いたいのかというと…ちゃんとホールを選べばもうちょっとマシな収支になるんだろうなってことです。当企画を読んでいただいた方に、そういう感じが芬芳りとも伝わって、少しでもホール選びについて考える時間を持つてもらえれば、当企画は成功だったということで。かしこ。



**出玉で勝負するホールが
増えて欲しいですな!!**